

質問
定期観光バス・花めぐり「花物語」、翡翠園・玉翠園の利用状況はどうか。また、市



田中 立一
議 員

歩いて見て楽しむ
まちづくりについて

市長答弁
定期観光バスについて、今年度の運行は、5月13日からの10日間で、延べ191人の利用者があり、好評をいただいている。また、25年度では、翡翠園が5,895人、玉翠園が8,772人の利用であった。

内には「かねこつつじ園」「大王あじさい園」といった誇るべきガーデンがあるが、今後さらにオープングーデンを支援し広めることについての考えはあるか。

質問
農地集約による経営の大規模化を促す農政改革が始まり、政府は「農業は成長産業になる」として改革を推し進めようとしているが、担い手育成を含めた市の現状と取り組み

農業政策について

オープングーデンについては、花いっぱい運動や市民講座などにより、多くの家庭で広まることを期待している。

市長答弁
農地中間管理機構は、新たな制度としてスタートし、現在、農地を借受ける担い手の募集を始めたところであり、まだ農地の貸し借りはない。また、JAひすいや地域振興局と連携しながら、制度を推進していきたい。

考えている。



《その他質問項目》

- 人口減少について
- 北陸新幹線開業と並行在来線について

持続可能な
まちづくりについて



五十嵐健一郎
議 員

質問
市における新たな国立公園の活用と管理運営体制及び将来ビジョンの策定について伺

市長答弁
新たな国立公園について、市への来訪者が増加するよう、ジオパークの活動の中で宣伝を強化していく。将来ビジョン及び管理運営体制について

う。
また、ジオパーク来訪者の誘致拡大、外国人観光客の受入態勢の充実、住宅・雇用関連施策や、地域の農産物等の輸出戦略など、糸魚川ジオパーク戦略プランによる成果と今後の取り組みについて伺う。

外国人観光客の受入態勢については、観光案内看板やホームページ開設などで対応してきたが、さらに今年度は、英語による会話帳を作成し、受入態勢の整備を進めている。

住宅・雇用関連施策では、現在、ネスバスでの求人イベントの実施や、Uターン情報センターから就職の斡旋を受けており、また、雇用促進住宅に入居する場合には、家賃の軽減を行っている。
地域の農産物等の輸出戦略について、地元産米をはじめとする農産物や加工品については、数量の問題があり、今

後も調査していく。

